

令和 6 年 6 月 13 日現在

機関番号：12602

研究種目：若手研究

研究期間：2019～2023

課題番号：19K19308

研究課題名（和文）質の高い日本版臨床研修指導歯科医評価表の開発

研究課題名（英文）Development of a High-Quality Japanese Version of the Clinical Training Instructor Dentist Evaluation Form

研究代表者

則武 加奈子（Noritake, Kanako）

東京医科歯科大学・東京医科歯科大学病院・講師（キャリアアップ）

研究者番号：60624210

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：日本版臨床研修指導歯科医評価表に必要な日本の臨床研修歯科医が考える優れた指導歯科医の特徴を明らかにするため、計9回のフォーカスグループインタビューを、4つの歯科大学附属病院臨床研修プログラムで研修中の研修歯科医または臨床研修修了後1年以内の歯科医師計38名に実施した。匿名化して作成されたトランスクリプトより、研修歯科医にとっての優れた指導歯科医に関する発言を抽出し、テーマ分類した。9回のインタビューから376の発言を抽出し44テーマに分類した。研修歯科医が考える優れた指導歯科医の特徴は、医科領域と共通するテーマだけでなく、歯科領域特有の優れた臨床研修指導歯科医の特徴が示された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研修歯科医など、免許取得直後の医療従事者にとって、臨床現場における指導者から受ける影響は極めて大きい。したがって、指導者の質の担保は、臨床研修などの初期研修の質の担保の観点からも極めて重要である。免許取得直後の歯科医師による優れた指導歯科医像に関する研究は、海外を含めてこれまで全く報告されていないため、日本の臨床研修歯科医が考える優れた指導歯科医の特徴を初めて明らかにした成果の学術的意義は大きい。

研究成果の概要（英文）：To clarify the characteristics of good clinical teachers as perceived by Japanese clinical trainee dentists, which are necessary for the Japanese version of the Clinical Training Instructor Dentist Evaluation Form, a total of 9 focus group interviews were conducted with 38 dentists who were either currently in training at the clinical training programs of 4 dental university hospitals or had completed their clinical training within the past year. From the anonymized transcripts, statements regarding excellent clinical training instructors were extracted and categorized into themes. A total of 376 statements were extracted from the 9 interviews and classified into 44 themes. The characteristics of excellent clinical training instructors, as perceived by trainee dentists, revealed not only themes common to the medical field but also those unique to the dental field.

研究分野：歯科医学教育

キーワード：歯科医師臨床研修 優れた指導医 質的研究 指導歯科医

## 1. 研究開始当初の背景

免許取得直後の医療従事者である臨床研修医・臨床研修歯科医・新人看護師等にとって、臨床現場における指導者から受ける影響は極めて大きい。指導者の質を担保することは、臨床研修等の初期研修の質を担保する観点からも極めて重要である。「優れた指導医」に関する研究は、欧米において100年以上の歴史がある(Sutkin et al. 2008)。臨床における指導者の教育能力の習得方略のひとつとして、学習者側からの指導者評価の有効性が示されており(Renee et al. 2010)。医科分野では2002年にGlickらによる指導医評価表が開発された(Glick et al. 2002)。また、2017年には日本の研修制度や文化を踏まえた「日本版臨床指導医評価表」が菊川らによって開発され(Kikukawa et al. 2017)。看護分野においても北欧を中心に指導者評価の研究が進められている(Helminen et al. 2014)。

歯科では、歯学生による優れた臨床指導歯科医に関する先行報告が複数ある(L. Jahangiri 2012等)。しかし、これらの報告はすべて免許取得前の学生を対象としたものであり、免許取得後の新米歯科医師に対する優れた指導歯科医像に関する研究は我々が調べた限りない。また、これらの研究では、調査対象は歯科学生となっているものの、全ての研究において医科の先行研究により開発された質問票や質問項目を用いて研究が進められており、この点において歯科領域における特徴の独自性ははなから見落とされている可能性も否めない。

卒前の歯科臨床教育に関する教育論文は様々に報告されているものの、免許取得直後の歯科医師に関する研究は驚くほど少ない(K. Ali 2015)。そして、免許取得直後、すなわち臨床研修の段階の歯科医師が考える優れた指導歯科医の特徴については、日本だけでなく世界的に明らかとなっていない学術的背景がある。

## 2. 研究の目的

本研究の目的は「日本版臨床研修指導歯科医評価表」の開発に際して必要となる、日本の臨床研修歯科医が考える優れた指導歯科医の特徴を明らかにすること、また先行研究で示されている欧米や日本の医科研修医や諸外国での歯科学生が考えた優れた指導医の特徴との違いについて明らかにすることである。

## 3. 研究の方法

2019年10月から2021年12月の間、計9回の優れた指導歯科医の特徴に焦点をあてた半構造形式のフォーカスグループインタビューを、4つの歯科大学附属病院臨床研修プログラムで研修中の研修歯科医または臨床研修修了後1年以内の歯科医師計38名に実施した。すべてのフォーカスグループの議論を匿名化して作成されたトランスクリプトより、研究代表者を含む2名の研究者が、それぞれ独立してすべての転写物を読み、関連する発言を抽出し、Sutkinのテーマを参考にしながら該当するテーマがあれば選択した。その後、2人で議論して、テーマの決定について議論しました。Sutkinのテーマに当てはまるものがあれば、そのテーマを割り付け、当てはまらなければ2人で独自のテーマを作ることを決定し適切なテーマ名を作成した。その後、独自に決定したテーマが、Sutkinの3つの主要なカテゴリー(教育者19テーマ、H:人間性10テーマ、P:医療者20テーマ)のどれにあてはまるかを決定した。その後指導的立場の研究者により抽出された発言、テーマ、カテゴリーを全て確認し、最終的に3人が合意した。このように、データの信頼性を高めるために、investigator triangulationを採用した。これらのプロセス

を経て、フォーカスグループが考えた優れた指導歯科医のテーマが明らかとなった。

#### 4．研究成果

2019年10月から2021年12月の間、計9回のインタビューを実施した。研究に協力した研修歯科医・歯科医師は計38名で、内訳は男性21名(55%)、女性17名(45%)、平均年齢は26.6歳(24-34歳)5施設で研修(A:26、B:3、C:3、D:5、E:1、A-Dは大学附属病院の研修プログラム、Eは歯科医院の研修プログラム)、自身の出身大学で研修者が29名(76%)、他学・施設での研修者が9名(24%)、単独型プログラム修了が19名(50%)、管理型プログラム修了が19名(50%)であった。

9回のインタビューから376の発言を抽出し44テーマに分類し、Sutkinの3カテゴリーの内訳は、T:26(266発言)、H:9(35発言)、P:10(75発言)であった。このうち独自作成テーマ数は総テーマの半数である22(T:13,H:5,P:4)となった。

研究対象とした日本の研修歯科医が考える優れた指導歯科医の特徴について、先行研究で示されている日本の研修医が考える優れた指導医の特徴との相違点、諸外国の歯科学生が考える優れた指導歯科医の特徴との相違点、と共通する項目について考察し、全てに共通するテーマ、日本の医科研修医との共通点と相違点、歯科学生との共通点と相違点について考察した。

研修歯科医が考える優れた指導歯科医の特徴は、医科領域と共通するテーマが認められた一方で、独自に設定した歯科領域特有のテーマ数は総テーマ数の半分を占め、歯科領域特有の優れた臨床研修指導歯科医の特徴が認められることが示唆された。

これらの結果を現在原著論文として国際誌に投稿中である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計11件（うち査読付論文 11件／うち国際共著 1件／うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 Noritake Kanako, Oshima Katsuo, Fukuda Hideki, Tano Rumi, Oshiro Akiko, Nitta Hiroshi, Miura Hiroko	4. 巻 19
2. 論文標題 Factors Affecting the Career Continuation of Newly Graduated and Reinstated Dental Hygienists Who Participated in a Technical Training Program in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 13360 ~ 13360
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph192013360	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Umemori Sachi, Noritake Kanako, Tonami Ken-ichi, Le Son Hoang, Sunaga Masayo, Kimura Yasuyuki, Kanamori Yuna, Sekiguchi Ayako, Nitta Hiroshi	4. 巻 19
2. 論文標題 The Effects of Providing Advance Notice and Stress-Coping Traits on Physiological Stress of Patients during Dental Treatment	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 2540 ~ 2540
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/ijerph19052540	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Suzuki Hitomi, Sugimoto Kumiko, Kubota-Miyazawa Ayako, Noritake Kanako, Umemori Sachi, Araki Kouji, Adachi Naoko, Otsuka Hiromi, Yoshida Naomi.	4. 巻 64
2. 論文標題 A survey of oral health status, subjective oral symptoms and oral health behaviors among first-year dental students at a Japanese university.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Oral Science.	6. 最初と最後の頁 85 ~ 90
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Tano Rumi, Miura Hiroko, Oshima Katsuo, Noritake Kanako, Fukuda Hideki	4. 巻 20
2. 論文標題 Relationship between career education experience among final year dental hygiene students and their perspective towards work and profession: A nationwide survey in dental hygiene schools of Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Dental Hygiene	6. 最初と最後の頁 203 ~ 208
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/idh.12535	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Numasawa Mitsuyuki, Nawa Nobutoshi, Funakoshi Yu, Noritake Kanako, Tsuruta Jun, Kawakami Chiharu, Nakagawa Mina, Yamaguchi Kumiko, Akita Keiichi	4. 巻 16
2. 論文標題 A mixed methods study on the readiness of dental, medical, and nursing students for interprofessional learning	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0255086
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0255086	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ammar Nour, Noritake Kanako, El Tantawi Maha et al	4. 巻 18
2. 論文標題 Perceived Preparedness of Dental Academic Institutions to Cope with the COVID-19 Pandemic: A Multi-Country Survey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental Research and Public Health	6. 最初と最後の頁 1445 ~ 1445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijerph18041445	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田野ルミ, 三浦宏子, 則武加奈子, 大島克郎, 水谷博幸, 福田英輝.	4. 巻 70 (5)
2. 論文標題 全国調査による歯科衛生士卒業年次生の初職における希望就業年数および就労観.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 保健医療科学.	6. 最初と最後の頁 598-606.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋 礼奈, 則武 加奈子, 佐藤 隆明, 田上 順次, 榎本 愛久美, 織田 祐太郎, 内山 沙紀, 盧山 農, 金森 ゆうな, 明橋 冴, 田上 温子, 高橋 彬文	4. 巻 64
2. 論文標題 術者の臨床経験および接着システムの違いが象牙質接着強さと接着信頼性に及ぼす影響について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本歯科保存学雑誌	6. 最初と最後の頁 220 ~ 226
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11471/shikahozon.64.220	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Noritake Kanako, Kanamori Yuna, Nitta Hiroshi	4. 巻 -
2. 論文標題 A remote program for residents to solve clinical questions and improve presentation skills	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Dental Education	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jdd.12473	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 水谷幸嗣, 則武加奈子, 鶴田潤, 關奈央子, 近藤圭子, 片桐さやか, 竹内康雄, 秋月達也, 塩山秀裕, 青木章, 和泉雄一, 岩田隆紀, 荒川真一, 荒木孝二	4. 巻 61(3)
2. 論文標題 診療参加型臨床実習への多職種連携の新規導入による臨床的效果および教育的効果	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本歯周病学会会誌	6. 最初と最後の頁 148-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2329/perio.61.148	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kouji Wada, Noriko Takei, Noriko Kanazawa, Tomoe Miyoshi, Kanako Noritake	4. 巻 15(1)
2. 論文標題 Working Conditions of Dental Hygienists Employed in Japanese Hospitals	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL PREVENTIVE DENTISTRY	6. 最初と最後の頁 48-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15236/ijcpd.2019.15.1.48	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計32件(うち招待講演 0件/うち国際学会 3件)

1. 発表者名 木村康之, 則武加奈子, 礪波健一, 新田浩, 豊福明.
2. 発表標題 臨床研修歯科医向け歯科医療安全教育プログラムの開発.
3. 学会等名 第87回口腔病学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Mitsuyuki Numasawa, Nobutoshi Nawa, Kumiko Yamaguchi, Kanako Noritake, Jun Tsuruta, Mina Nakagawa.
2. 発表標題 Comparison of readiness for interprofessional learning among medical, dental, and nursing students before the start of clinical practice.
3. 学会等名 AMEE 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Mina Nakagawa, Kumiko Yamaguchi, Mitsuyuki Numasawa, Kanako Noritake, Janelle Moross, Jun Tsuruta.
2. 発表標題 Remote interprofessional learning during the COVID-19 pandemic for younger undergraduate students' early exposure to medicine.
3. 学会等名 AMEE 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡田光純 , 瀧 洋平 , ニツ谷龍大 , 添田ひとみ , 則武加奈子 , 佐々木好幸 , 田中慎二 , 細田明美 , 水口俊介.
2. 発表標題 高齢者における口腔機能とたんぱく質摂取量の関連.
3. 学会等名 日本補綴歯科学会 2022年度 東京支部学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 礪波健一, 梅森 幸, 則武加奈子, 秀島雅之, 海老原新, 曹 日丹, 須永昌代, 木下淳博, 新田 浩.
2. 発表標題 エクセルマクロを用いた「保険請求トレーニングアプリ」の開発.
3. 学会等名 第87回口腔病学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 李 施恩, 中山 魅来, 林 七夏, 土田 優美, 金森 ゆうな, 則武 加奈子, 新田 浩, 宮安 杏奈, 岩城 麻衣子, 金澤 学.
2. 発表標題 支台歯形成における主観的評価と定量的評価の比較.
3. 学会等名 第87回口腔病学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 林 芽衣, 林 七夏, 中山 魅来, 土田 優美, 金森 ゆうな, 則武 加奈子, 安齋 達彦, 高橋 邦彦, 新田 浩, 金澤 学.
2. 発表標題 深層学習を用いた支台歯形成の評価.
3. 学会等名 第87回口腔病学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木村康之, 岩脇清一, 則武加奈子, 礪波健一, 豊福明.
2. 発表標題 臨床研修歯科医における歯科医療安全教育の効果の検討.
3. 学会等名 第17回医療の質・安全学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 礪波健一, 梅森 幸, 則武加奈子, 金森ゆうな, 葛西美樹, 小西富代, 佐川かおり, 下山和弘, 新田 浩.
2. 発表標題 Microsoft Access を利用した歯科ドック報告書作成フロー.
3. 学会等名 第24回ジャパンオーラルヘルス学会総会
4. 発表年 2022年



1. 発表者名 中川美奈, 山口久美子, 沼沢益行, 那波伸敏, 鹿島田彩子, 則武加奈子, 井津井康浩, 岡田英理子, 金子英司, 樺沢勇司, 川上千春, 鶴田潤, 山脇正永, 秋田恵一.
2. 発表標題 学部学生を対象としたオンライン専門職連携教育早期体験実習.
3. 学会等名 第54回日本医学教育学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 則武加奈子, 梅森幸, 金森ゆうな, 礪波健一, 新田浩.
2. 発表標題 Covid-19感染拡大下における早期臨床体験実習の在り方とは.
3. 学会等名 第54回日本医学教育学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金森ゆうな, 關奈央子, 則武加奈子, ジャネルモロス, 須永昌代, 礪波健一, 森尾郁子, 木下淳博, 新田浩.
2. 発表標題 東京医科歯科大学病院研修歯科医に対する歯科英語コースについて.
3. 学会等名 第41回日本歯科医学教育学会総会および学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 礪波健一, 梅森幸, 則武加奈子, 金森ゆうな, 新田浩.
2. 発表標題 プロスペクト理論を引用して解答することを想定したインフォームドコンセント課題.
3. 学会等名 第41回日本歯科医学教育学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 梅森幸, 礪波健一, 則武加奈子, 金森ゆうな, 新田浩.
2. 発表標題 歯学科 2 年次医療面接実習における Web会議システムを活用したオンライン実施.
3. 学会等名 第41回日本歯科医学教育学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 則武 加奈子、大島 克郎、大城 暁子、新田 浩、三浦 宏子.
2. 発表標題 歯科衛生士に対する復職支援・離職防止研修受講者における職業継続意思に影響を及ぼす要因.
3. 学会等名 第41回日本歯科医学教育学会総会および学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 木村康之, 礪波健一, 梅森幸, 則武加奈子, 豊福明, 新田浩.
2. 発表標題 歯科大学病院におけるインシデントの特徴.
3. 学会等名 第86回口腔病学会学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ken-ichi Tonami, Sachi Umemori, Yasuyuki Kimur, Kanako Noritak, Kouji Araki, Hiroshi Nitta.
2. 発表標題 Effects of Online Education on Students' Self-Reflection About Inter-Personal Relationship.
3. 学会等名 99th General Session & Exhibition of the IADR (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 則武 加奈子, 須永 昌代, 海老原 新, 秀島 雅之, 礪波 健一, 梅森 幸, 金森 ゆうな, 木下 淳博, 新田 浩.
2. 発表標題 東京医科歯科大学歯学部附属病院の研修歯科医採用試験におけるオンライン試験の試み.
3. 学会等名 第40回日本歯科医学教育学会総会および学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金森ゆうな, 則武加奈子, 木村康之, 城戸大輔, 海老原 新, 秀島雅之, 礪波健一, 梅森 幸, 新田 浩.
2. 発表標題 東京医科歯科大学研修歯科医の支台歯形成を評価する能力について.
3. 学会等名 第40回日本歯科医学教育学会総会および学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 則武加奈子 山口久美子 金森ゆうな 菊川 誠 新田 浩.
2. 発表標題 臨床研修歯科医が考える優れた指導歯科医とは?
3. 学会等名 第53回日本医学教育学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 則武加奈子、金森ゆうな、海老原 新、城戸大輔、岩城麻衣子、木村康之、楠 侑香子、秀島雅之、礪波健一、梅森 幸、荒木 孝二、新田 浩.
2. 発表標題 在宅勤務を命じられた研修歯科医への臨床研修実施奮闘記.
3. 学会等名 第39回日本歯科医学教育学会総会および学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 金森ゆうな, 則武加奈子, 梅森幸, 岩城麻衣子, 城戸大輔, 竹内祥吾, 服部旭威, 礪波健一, 海老原新, 秀島雅之, 荒木孝二, 新田浩
2. 発表標題 東京医科歯科大学歯学部附属病院研修歯科医への客観的歯科臨床技能評価の導入の試み
3. 学会等名 第84回口腔病学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鈴木 瞳, 吉田直美, 杉本久美子, 久保田絢子, 則武加奈子, 梅森 幸, 荒木孝二
2. 発表標題 歯学部新入生における口腔内状況と口腔保健行動の調査
3. 学会等名 第84回口腔病学会学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 礪波健一, 荒木孝二, 木村康之, 梅森幸, 則武加奈子, 新田浩
2. 発表標題 東京医科歯科大学歯学部附属病院総合歯科診療センターの運用状況とその成果
3. 学会等名 ジャパンオーラルヘルス学会第22回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山口 久美子, 那波 伸敏, 川上 千春, 中川 美奈, 則武 加奈子, 沼沢 益行, 鶴田 潤, 秋田 恵一
2. 発表標題 多職種チームの症例検討において学生は他職種の影響をどのように受けるか
3. 学会等名 第51回日本医学教育学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川上 千春, 山口 久美子, 那波 伸敏, 中川 美奈, 沼沢 益行, 則武 加奈子, 鶴田 潤, 秋田 恵一
2. 発表標題 8学科での多職種連携教育における貢献度に影響する要因の学科間比較
3. 学会等名 第51回日本医学教育学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 則武 加奈子, 鶴田 潤, 中川 美奈, 山口 久美子, 三好 智絵, 荒木 孝二
2. 発表標題 医学生が歯学生の診療現場で学ぶ新たな臨床実習プログラムの効果
3. 学会等名 第51回日本医学教育学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中川美奈, 沼沢益行, 那波信敏, 山口久美子, 則武加奈子, 鶴田 潤, 三宅 智, 野里洵子, 入山哲次, 荒木孝二, 秋田恵一
2. 発表標題 臨床実習における医歯連携実習の取り組み
3. 学会等名 第51回日本医学教育学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鶴田 潤, 則武 加奈子, 關 奈央子, 水谷 幸嗣, 荒木 孝二
2. 発表標題 臨床実習における多職種協働に関する学生評価
3. 学会等名 第38回日本歯科医学教育学会総会・学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 須永昌代, 原田悠介, 渡邊洋子, 大城暁子, 白見莉沙, 則武加奈子, 品田佳世子, 水口俊介, 木下淳博.
2. 発表標題 歯科衛生士復職支援プログラムにおけるヒト型患者ロボットを用いた歯周ポケット測定訓練とその効果
3. 学会等名 第38回日本歯科医学教育学会総会・学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 鶴田 潤, 則武加奈子, 戸田花奈子, 近藤圭子
2. 発表標題 歯科学生と歯科衛生学生が診療参加型臨床実習で協働する連携実習に対する協力患者による評価(第2報)
3. 学会等名 第60回日本歯科医療管理学会総会・学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 則武加奈子, 近藤圭子, 戸田花奈子, 鶴田 潤
2. 発表標題 歯科学生と歯科衛生学生が診療参加型臨床実習で協働する連携実習の効果
3. 学会等名 第60回日本歯科医療管理学会総会・学術大会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 礪波健一、則武加奈子、梅森 幸、新田 浩、小田 茂、荒木孝二	4. 発行年 2021年
2. 出版社 クインテッセンス出版	5. 総ページ数 136
3. 書名 見逃しケースのなぜを解く！ 歯科診断スキルアップ実践ガイド	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------